

1. 事業評価説明シート

(区分) 国補・県単

事業名	道路事業 [緊急道路整備事業(国補)]	事業箇所	南アルプス市有野～曲輪田	地区名	(主) 韮崎南アルプス中央線	事業主体	山梨県
-----	---------------------	------	--------------	-----	----------------	------	-----

(1) 事業概要

①課題・背景

本路線は、韮崎市の国道20号交差点を起点とし、中央市の国道140号交差点に至る全長約3.4kmの主要地方道であるが、南アルプス市有野地区内は、幅員が狭く、カーブが多いため、通行に支障をきたしており、地域の住環境に悪影響を与えている。周辺には、社会福祉村施設や工業団地が点在しており、白根ICや南アルプスIC方面からこれらの施設への利便性やアクセス性が課題となっている。また、白根源小学校に通学する児童の脇を通過交通が走行し、交通事故の危険性があることから、早急な道路整備が望まれている。

②整備目標・効果

□主要目標 ○市町村中心地、大規模拠点施設へのアクセス向上
 道路改良率 58.7%(H28道路現況表) < 62.5%※以下
 混雑時走行速度29.7km/h(H22センサス) < 30km/h※以下
 ※評価基準値

□副次目標 ○歩行者等の安全性の確保
 歩行者・自転車交通量 196人台/12h(実測値) > 71人台/12h※以上
 自動車交通量 3,525台/12h(H22センサス) > 3,314台/12h(平日)※以上
 通学路の指定 指定あり
 現況の歩道幅員 0m < 1.4m以下※
 ※評価基準値

□副次効果 ○緊急時の避難・救助機能の確保(緊急輸送路の整備)
 ○バリアフリー化の促進(道路移動等円滑化基準を満たす)

(2) 整備内容

- ①整備内容 道路改良 L=1,540m W=6.5(13.0)m
- ②着手年度 平成29年度 ③完成見込年度 平成36年度
- ④総事業費 約850百万円(国費504百万円(5.94/10)県費346百万円(4.06/10))
- ⑤年度別の整備内容 (事業費)
 平成29年度 詳細設計・用地測量・用地取得 130百万円
 平成30年度～32年度 用地測量・用地取得・道路改良工事 470百万円
 平成33年度～36年度 道路改良工事 250百万円

⑥既整備内容・期間・事業費
なし

(3) 事業の妥当性評価

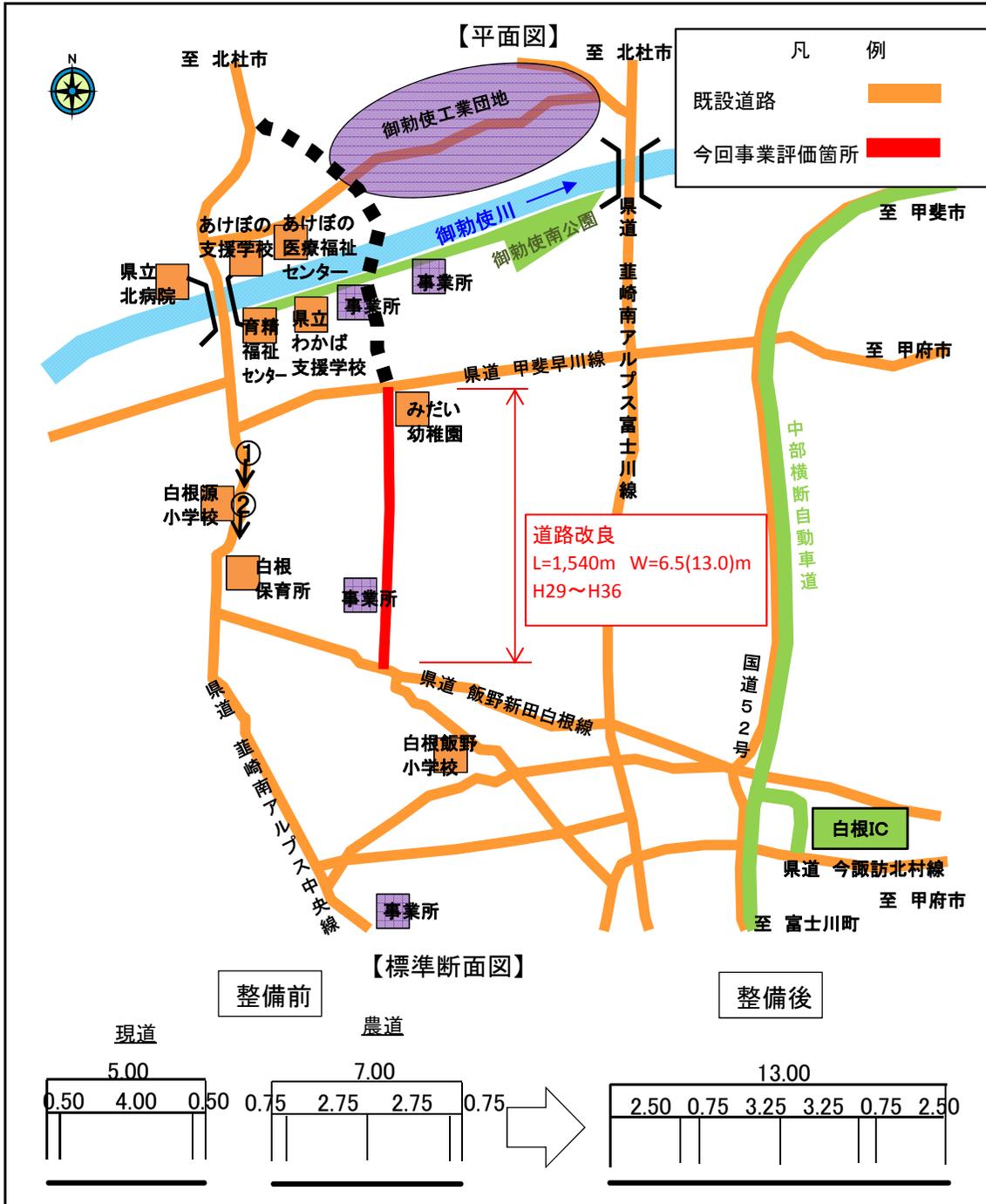
妥当・妥当でない

- ①公共関与の妥当性(行政が行うべき事業か)
 一般通行の用に供する県道であり、極めて公共性が高い。
 - ②事業執行主体の妥当性(県が行うべきか)
 県管理道路であり道路法第15条により県が行うべき事業である。
 - ③経済妥当性
 費用便益費 便益(B)/費用(C) = 1.4 > 1.0
 ・便益(B) = 1,200 百万円 ・費用(C) = 830 百万円
 - ④事業実施・規模の妥当性
 現道は幅員狭小な未改良区間であるとともに、沿線小学校の児童とトラックによる接触事故も発生していることから、通過交通を排除し通学路として安全を確保する必要がある。
 - ⑤整備手法の有効性
 現道は人家が連担しており、コスト、整備期間、地域コミュニティ維持の面から、現道に並行する農道を拡幅し、幹線道路網を形成するのが妥当である。
 - ⑥環境負荷への配慮
 大規模な自然環境の改変ではないため、自然環境に対して想定される負荷は少ない。
 - ⑦事業計画の熟度
 狭小部の解消に対する地域住民の期待は大きく、道路改良に対する要望が強い。
- 総合評価** [貢献度ランク: a]

【事業位置図等】



2. 添付資料シート



① 幅員狭小



② 幅員狭小・通学状況